

長岡税務署長賞

税金とともに生きる

新潟県立長岡商業高等学校

三年 齋藤 陽香

はじめに、私は今まで税金についてあまり詳しく知りませんでした。しかし、作文を書くにあたって調べたとき、税金は「社会の基盤を支える重要な要素」だと知りました。私は税金が重要とされるのは公共の利益の実現のためだと思います。税収を活用して様々な公共サービスを提供することで、私たち国民の生活水準を向上させていると思うからです。だから、私たち国民から徴収された税金は私たちの生活を支えるサービスとして返ってくるのだと思います。私にとって一番身近な消費税も、年金、医療費、介護、少子化対策などに使われていると知り税金に対する向き合い方が少し変わりました。また国民は、税金を払うことで「税金を払っているのだから」と政府に対して公共サービスの提供などを期待し、政府はそれに対し国民からの信頼を得るために、サービスを提供する計画案を立て始めること

ができます。つまり、このような国民と政府の連携から社会全体の繁栄が進んでいくのです。

そして、私が目指している警察官は公務員で、税金を資金とし、業務を行っています。警察官は、社会の安定や市民の安全を守るために欠かせない職業です。税金から賄われる予算は、警察署や施設の維持・改善、最新技術や装備の導入、犯罪分析ツールの開発などに活用され、犯罪への対応能力を向上させているのです。私は、このように市民の安全を守るためにも税金が使われていると知り、税金の重要さは計り知れないと思いました。

最後に、税金とともに生きるということは、現在の私たちには当たり前のことです。そして、私たちが税金を支払うことは義務です。ですが、一部の税金の使い道しか知らない方々は、「税金の無駄遣い」とよく言います。税金についてあまり詳しく知らない方々にこそ、税金が私たちにしてくれるサービスについて知ってほしいです。一番身近な消費税は年金、医療費、少子化対策など。住民税は地域の基盤整備、教育環境の向上、社会福祉の支援、地域作りと文化振興、災害対策と安全保障など。これらだけでなく、他の税金も、私たちが暮らしやすくするために使われていることを理解して税金とともに生きていきたいなと思います。